

福沢小学校 学校だより

まなびや



令和
2年
3月



自ら学び、共に考え、行動する子どもへ！ ～コロナウイルスに負けない～

昨年暮れから、世界中で話題になっていた新型コロナウイルス問題は、日本国内においても大混乱を起こしました。年度末を控えたこの時期に、全国の学校がほぼすべて、臨時休校になるなど、だれが予想したでしょうか。安倍総理大臣から、2月末に新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、全国すべての小・中学校、高等学校、特別支援学校に対し、3月2日から春休みまで臨時休校とすることが要請されました。

こうした要請を受けて、南足柄市では、3月3日（火）から3月16日（月）までの2週間を臨時休校としました。また、3月19日（木）は、卒業生と職員、保護者各1名という形式で卒業式を、さらに、3月25日（水）は修了式を行うこととしました。その後、3月17日（火）から3月24日（火）まで休校を延長し、登校日として、3月18日（水）と3月23日（月）を設けました。その後の春休みから先の対応については、今後、マチコミメールでお知らせいたします。

学校評価結果を学校運営連携協議会で説明

令和元年度の学校運営連携協議会が2月5日（水）に開催され、各委員の皆さまに、学校評価の結果について説明させていただきました。11月に実施した保護者の皆様の学校に対するご意見やお考えと、子どもたちから学校に対しての意見、教職員の評価と合わせて総合的な評価を出したのについて、学校運営連携協議会委員のみなさんと検討した内容です。

この会議では、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の知・徳・体の視点から話し合いを行いました。



○来年度の教育活動に向けて

1 確かな学力

- ・児童の学習意欲・態度を育成
- ・中学校までつなげる学習習慣の確立と定着
- ・基礎・基本の徹底および根拠をもとに考える指導の充実
- ・読書に取り組む機会の充実

2 豊かな人間性

- ・自己有用感を育む学校生活の充実
- ・楽しい学校生活（いじめ防止、困り感の解消）
- ・あいさつの励行
- ・子どもが相談しやすい環境づくり

3 健康・体力

- ・望ましい生活習慣の確立（よい生活）に向けての取り組み「早寝・早起き・朝ごはん」
- ・規則正しい家庭生活（テレビやゲームの利用の工夫）
- ・学校体育の充実

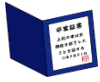
4 その他

- ・スクールコーディネーターとの協働による地域教育力を生かした体験活動の充実
- ・保護者が相談しやすい環境づくり
- ・足柄台中学校区での交流

学校運営連携協議会で話し合われた内容(一部)

「必要な時に、まわりの人に相談することができる」という設問について、相談できない子がいることを受け止め、「危機意識をもって臨まなければならないこと」、「今からしっかりフォローしていかなければならないこと」、「周りの大人が小さな変化に気づいて対応していくこと」などが話し合われました。また、全職員が声をかけ、職員が複数の目で子どもたちを見守るようにしていることが評価されました。より良い学校を目指すために子どもの現状をつかむ学校の努力については、今後も継続して取り組んでいただきたいというご意見をいただきました。

来年度も引き続き、家庭・地域・学校が協力して、子どもたちの健やかな成長のために努力してまいります。



卒業証書授与式 令和2年3月19日(木)

卒業式



3月19日(木)は、小学校の卒業証書授与式です。この卒業証書授与式は、多くの学校行事の中でも、特別に大切な行事です。それは、入学してから6年間心をこめて、学習に生活にさまざまなことを教え育ててきた子どもたちを送り出す大切な日だからです。また、6年生の子どもたちにとっては、『小学校最後の授業』でもあります。本来であれば、在校生にとっても、6年生の姿から多くのことを学び、またこれからその伝統を引き継いでいこうと決意する日です。今回は新型コロナウイルスのため、在校生は参加できませんが、みんなで「卒業おめでとう」の気持ちを、心の中で精一杯表すことで、6年生の旅立ちを祝福したいと思います。

令和2年度から変わる小学校の授業

令和2年度から、新学習指導要領が全面実施されます。これまでの授業からどのような変化があるか紹介します。(文部科学省HPより)

(1) 「思考力・判断力・表現力」育成を重視した授業の展開

これからの変化の激しい社会を生きていくためには、知識や技能を活用して自ら課題を見つけ、課題を解決していくことが求められます。そのために「思考力・判断力・表現力」が重要となります。例えば「なぜゴミを分別して捨てなければならないのだろう」といった日常的な疑問から出発し、その疑問を「ゴミを減らすにはどうしたらよいか」という解決すべき課題としてとらえなおし、解決策を子ども主体で考えていく中で、思考力・判断力・表現力を育てていきます。

(2) プログラミング教育の導入

これからは、情報技術を活用し、課題解決をする能力が求められるようになります。その基礎的な力を育むために「プログラミング教育」が導入されます。各教科や総合的な学習の時間の中で、コンピュータが実行できる命令の組み合わせを考える体験を通して「プログラミング的な考え方」を学ぶことが目的です。例えば、「〇〇を作りたい」という目標(やりたいこと)を実現するために、必要な材料を用意し、それらを組み合わせ、手順を決めて作業する。このプロセスはプログラミング的な考え方に基づく活動そのものになります。



(3) 英語が教科として導入

将来多様な人々と関わるうえで必要になる英語コミュニケーション能力を、小学校の段階から学びます。暗記や文法中心ではなく、幼児が言葉を覚えるように、早くから英語に触れながら「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の力を使えるレベルに押し上げることを目標としています。小学校では3,4年生は週に1コマ「外国語活動」として、あいさつや身近な会話などに慣れ親しみ、5,6年生から「教科」として、週に2コマの英語授業がスタートします。「聞く」「話す」のレベルアップとともに、成績評価もつき、「読む」「書く」の活動も始まり、コミュニケーションの中で表現を体得していくような授業になります。

令和元年度の福沢小学校の教育活動がまもなく終わります。今年度も、保護者・地域の皆様には、さまざまな面でご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

校長としての3年間、学校教育目標である「自ら学び、共に考え、行動する子ども」の具現化を図り、子どもたちにとって、「明日も楽しみな学校」となるよう「子どもが輝く学校」や「教職員が輝く学校」「家庭・地域と共につくる輝く学校」を目指して、取り組んできました。

私事になりますが、この3月をもちまして約38年間の教員生活を終えることとなりました。足柄上地区で教員生活を始めましたが、南足柄市では、福沢小学校と岡本小学校、北足柄小学校と経験させていただきました。そのうち、福沢小学校では、教諭・教頭・校長として14年間勤務をさせていただきました。最後の3年間、校長として福沢小学校のために…福沢小学校の児童のために何ができたのか分かりません。しかし、私自身はこの3年間本当に充実していました。

素直で元気な福沢っ子との出会い。中休みや昼休みに多くの子どもたちが校長室を訪問してくれました。毎日が心洗われるようで楽しかったです。また、保護者や地域の方々の中にもたくさんの知り合いができました。中には教員時代の教え子が保護者というケースもありました。どの子ども立派なお父さんやお母さんになっていて、これからの福沢を担う頼もしい存在でした。それは、退職後の生活の宝物となります。本当にありがとうございました。とても幸せでした。 水野博文